



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7762 URL <https://www.citizen.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 敏彦  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 広報IR室担当 (氏名) 古川 敏之 TEL 042-468-4934  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	238,894	3.8	23,416	11.3	27,478	12.4	20,690	5.0
2023年3月期第3四半期	230,178	6.8	21,032	7.1	24,440	9.5	19,697	14.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 32,757百万円( 25.5%) 2023年3月期第3四半期 26,097百万円( 16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	84.19	-
2023年3月期第3四半期	67.26	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	403,608	243,230	58.2	962.84
2023年3月期	389,982	232,775	57.5	866.68

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 234,760百万円 2023年3月期 224,179百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	15.00	-	19.00	34.00
2024年3月期	-	20.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	2.9	25,000	5.4	28,500	△2.1	21,000	△3.8	81.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	246,000,000株	2023年3月期	294,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,177,673株	2023年3月期	35,334,190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	245,757,696株	2023年3月期3Q	292,843,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、経済活動の正常化に伴い個人消費は増加基調を保ち、緩やかな持ち直しの動きを維持しました。また、北米および欧州経済は、インフレと金利上昇による景気の後退懸念が強まりながらも賃上げの広がりや雇用の増加もあり、個人消費は堅調さを保ちました。アジア経済は、中国における経済活動再開後の景気回復が鈍く、その他のアジア地域も輸出や設備投資需要に勢いを欠き回復は緩やかなものに留まりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、主に時計事業が堅調に推移し売上高は2,388億円(前年同期比3.8%増)、営業利益は234億円(前年同期比11.3%増)と増収増益となりました。また、経常利益は274億円(前年同期比12.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益については206億円(前年同期比5.0%増)と、それぞれ増益となりました。

#### (時計事業)

ウォッチ販売のうち、“CITIZEN”ブランドの国内市場は、物価上昇に伴う消費マインドの低下が見られながらも、『ATTESA』や『PROMASTER』などの中核ブランドに加え、高価格帯ブランド『The CITIZEN』限定モデルなどが底堅さを保ち、またインバウンド需要にも回復が見られたことで、増収となりました。

海外市場のうち北米市場は、物価上昇率が依然として高い水準を維持しており消費者の節約志向が高まる中、ジュエリーチェーンや百貨店流通において弱含んだ動きも見られましたが、主にEC販売などが好調に推移したことで増収となりました。欧州市場は、物価高に見舞われながらもイギリス、イタリアなどが好調に推移し、フランスにおいても新たな取扱店の拡大が順調に進んだことなどにより増収となりました。アジア市場は、人流の回復に伴いシンガポールなどが上向き傾向を維持し、中国もまだ限定的ではあるものの徐々に回復に転じたことで増収となりました。

“BULOVA”ブランドは、主力の北米市場において、ジュエリーチェーンなどの主要流通に勢いを欠く展開となったものの、トラベル流通など新たな販路の広がりが補い、増収となりました。

ムーブメント販売は、機械式ムーブメントが堅調に推移した一方で、アナログクォーツムーブメントが欧米市場における景気後退懸念を受け慎重な動きとなり、前年並みの実績となりました。

以上の結果、時計事業全体では、長引く世界的な物価上昇に伴う消費マインドの低下が懸念される中、グローバルブランドや、プレミアムブランド及び機械式時計の強化に向けた取り組みを進めたことで、売上高は1,272億円(前年同期比8.4%増)と増収となりました。営業利益においては、売上高の上昇と継続的な収益性改善に向けた取り組みが寄与し、184億円(前年同期比16.9%増)と増益となりました。

#### (工作機械事業)

国内市場は、全体的に設備投資への慎重姿勢が広がる中、自動車関連の出荷が伸び悩みましたが、建機や医療関連などが底堅く推移し、増収を確保しました。海外市場は、欧州及び米州市場で主に医療関連の販売が堅調に推移した一方で、中国やその他のアジア市場で続く市況低迷が響き、減収となりました。

以上の結果、工作機械事業全体では売上高は621億円(前年同期比1.9%減)と減収となりました。営業利益においては部材価格の高騰の影響等もあり75億円(前年同期比10.9%減)と減益となりました。

#### (デバイス事業)

精密部品のうち自動車部品は、半導体不足に伴う部品の供給不足が緩和するとともに自動車メーカーの生産回復が進み、増収となりました。また、小型モーターは医療関連など幅広い分野での市況回復が寄与し増収となったものの、水晶デバイスはPCやIoT関連市場における需要減速を受け減収となり、精密部品全体では前年並みとなりました。

オプトデバイスのうちチップLEDは、車載向けLEDの回復が遅れているほか、中国・アジア市場の景気減速の影響等により照明向けLEDが落ち込み、減収となりました。

以上の結果、デバイス事業全体では、売上高は325億円(前年同期比4.9%減)と減収となりましたが、営業利益は固定費削減を進めたことにより4億円(前年同期は1億円の営業損失)と減収増益となりました。

(電子機器他事業)

情報機器は、市況環境に対する見通しの悪化から需要の回復は弱いものとなりPOSプリンターやバーコードプリンターが伸び悩んだものの、フォトプリンターがイベント需要の拡大等により好調に推移し、増収となりました。健康機器は、体温計の需要低迷が継続したほか、血圧計も回復傾向にあるものの前年を上回るには至らず、減収となりました。

以上の結果、電子機器他事業全体では、売上高は169億円(前年同期比11.3%増)、営業利益は13億円(前年同期比33.7%増)と、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ136億円増加し、4,036億円となりました。資産のうち、流動資産は、現金及び預金が105億円減少した一方で、棚卸資産が112億円、受取手形及び売掛金が60億円増加したこと等により、59億円の増加となりました。固定資産につきましては、リース資産が23億円、機械装置及び運搬具が20億円増加したこと等により、76億円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、未払費用が31億円、未払法人税等が22億円増加した一方で、短期借入金が34億円減少したこと等により31億円増加し、1,603億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、123億円の自己株取得や98億円の配当を行ったことにより株主資本が14億円減少したこと、為替換算調整勘定が89億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ104億円増加し、2,432億円となりました。

なお、391億円の自己株消却をしたことにより、利益剰余金と自己株式が減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期連結業績予想につきましては、2023年11月13日発表の「2024年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	82,490	71,949
受取手形及び売掛金	53,718	59,808
電子記録債権	2,081	3,091
商品及び製品	58,604	67,147
仕掛品	24,291	27,567
原材料及び貯蔵品	25,595	25,053
未収消費税等	3,052	2,517
その他	10,907	9,704
貸倒引当金	△1,099	△1,231
流動資産合計	259,642	265,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,808	42,194
機械装置及び運搬具（純額）	15,868	17,894
工具、器具及び備品（純額）	3,899	4,483
土地	10,367	10,485
リース資産（純額）	5,134	7,491
建設仮勘定	2,443	2,474
有形固定資産合計	79,521	85,024
無形固定資産		
ソフトウェア	3,951	4,458
その他	799	823
無形固定資産合計	4,751	5,282
投資その他の資産		
投資有価証券	39,021	40,999
長期貸付金	163	171
繰延税金資産	5,581	5,077
その他	1,675	1,701
貸倒引当金	△236	△257
投資損失引当金	△138	—
投資その他の資産合計	46,066	47,692
固定資産合計	130,340	137,999
資産合計	389,982	403,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,889	18,719
電子記録債務	13,325	11,999
設備関係支払手形	18	20
営業外電子記録債務	384	543
短期借入金	3,787	290
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	2,179	4,414
未払費用	10,997	14,169
賞与引当金	6,156	4,302
役員賞与引当金	303	—
製品保証引当金	1,244	1,333
事業再編整理損失引当金	110	108
その他	11,918	11,584
流動負債合計	79,317	67,487
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	51,328	52,352
繰延税金負債	3,628	5,364
事業再編整理損失引当金	6	6
退職給付に係る負債	16,572	16,951
リース債務	4,679	6,892
その他	1,673	1,321
固定負債合計	77,889	92,890
負債合計	157,206	160,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	33,740	33,739
利益剰余金	150,483	122,198
自己株式	△28,581	△1,697
株主資本合計	188,290	186,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,161	13,086
為替換算調整勘定	25,659	34,609
退職給付に係る調整累計額	67	175
その他の包括利益累計額合計	35,888	47,871
非支配株主持分	8,596	8,469
純資産合計	232,775	243,230
負債純資産合計	389,982	403,608

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	230,178	238,894
売上原価	136,117	135,774
売上総利益	94,060	103,120
販売費及び一般管理費	73,027	79,703
営業利益	21,032	23,416
営業外収益		
受取利息	544	998
受取配当金	865	874
持分法による投資利益	844	1,018
助成金収入	189	71
為替差益	1,171	2,008
その他	374	244
営業外収益合計	3,989	5,216
営業外費用		
支払利息	220	236
自己株式取得費用	79	586
社債発行費	—	53
その他	282	278
営業外費用合計	582	1,154
経常利益	24,440	27,478
特別利益		
固定資産売却益	1,748	37
投資有価証券売却益	725	554
その他	216	13
特別利益合計	2,689	605
特別損失		
固定資産除却損	269	447
固定資産売却損	15	28
減損損失	1,684	2
事業再編整理損	25	8
投資有価証券評価損	—	41
その他	28	13
特別損失合計	2,024	541
税金等調整前四半期純利益	25,105	27,541
法人税等	5,818	6,908
四半期純利益	19,287	20,633
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△410	△56
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,697	20,690



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	19,287	20,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189	2,925
為替換算調整勘定	6,607	8,699
退職給付に係る調整額	△23	106
持分法適用会社に対する持分相当額	414	392
その他の包括利益合計	6,810	12,124
四半期包括利益	26,097	32,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,363	32,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△265	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年2月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式14,875,100株の取得を行い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が12,301百万円増加しました。また、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月30日付けで、自己株式48,000,000株の消却を行った結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ39,166百万円減少しました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が122,198百万円、自己株式が1,697百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器他事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	117,358	63,376	34,199	15,243	230,178	—	230,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	67	91	1,076	457	1,692	△1,692	—
計	117,425	63,468	35,276	15,700	231,870	△1,692	230,178
セグメント利益又は損失(△)	15,779	8,436	△166	976	25,025	△3,993	21,032

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△3,993百万円には、セグメント間取引消去76百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,070百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」セグメントにおいて、建物及び構築物、機械装置及び運搬具等について1,684百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器他事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	127,230	62,177	32,520	16,966	238,894	—	238,894
セグメント間の内部売上高又は振替高	63	165	1,329	489	2,049	△2,049	—
計	127,294	62,342	33,850	17,456	240,943	△2,049	238,894
セグメント利益	18,449	7,518	432	1,305	27,706	△4,289	23,416

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△4,289百万円には、セグメント間取引消去60百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,350百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。